

令和5年度 名古屋市環境科学調査センター

参加無料
事前申込制 先着100名

調査研究発表会

日時 令和6年2月2日(金) 14:00～16:30(13:30開場)
会場 愛知芸術文化センター12階 アートスペースA

プログラム

水中のDNAから、そこにすむ生きものがわかる!?

～環境DNAを用いた市内ため池にすむ魚類調査結果～

14:10-14:40 研究員 岡村 祐里子

池や川の水の中に残されたDNAからそこにすむ生きものを調べる「環境DNA調査」をご存知でしょうか? 環境DNA調査について紹介し、市内のため池にすむ魚類についての環境DNA調査結果を報告します。

名古屋の地下水は何歳? ～六フッ化硫黄を利用した年代測定～

14:40-15:10 研究員 森 健次

大気中にむすかに含まれる気体「六フッ化硫黄」。その濃度は近年、単調に増加していて、この特徴を利用すると地下水が何年前の雨水からできているかを知ることができます。市内の地下水が「何歳」なのかを調べました。

休憩&ポスターセッション 15:10-15:30

→詳細は裏面へ

名古屋の空気を知ろう! ～揮発性有機化合物(VOC)について～

15:30-16:00 研究員 上田 真久

全国的に環境基準が達成されておらず、発生機構が未解明な光化学オキシダント。今回は、光化学オキシダントの生成に関係しているVOCの実態を調べるために行った、調査の結果を報告します。

大気をただよばうマイクロプラスチックの実態を探る

～目に見えない小さなタイヤのかけらを探し出す～

16:00-16:30 研究員 池盛 文雄

近年、大気中にただよぶマイクロプラスチックとして自動車タイヤの粉じんが注目されています。大気粒子中のタイヤ由来の化学物質を分析し、その実態を調査した結果を報告します。

申込方法

令和6年1月11日(木) 午前9時から受付開始

右に記載した二次元コードからお申込みいただくか、下記の必要事項を明記のうえ、電話・FAX・メールのいずれかでお申込みください。

●必要事項

1. 氏名
2. 住所(区まで)
3. 電話番号 または Eメールアドレス
4. ご所属(企業・団体・学校等) 任意

ご応募は先着順(定員100名)で受付します



<https://logoform.jp/linMPP>

いただいた個人情報、当センターからのご案内やご連絡のみに使用します。
ご本人の承諾がない限り、上記の目的以外に使用、第三者に提供することはありません。
・当センターの広報活動の一環として、当日撮影した写真・動画をさせていただく場合がありますのでご了承ください。

お申込み・お問合せ先

名古屋市環境科学調査センター(名古屋市南区豊田五丁目16番8号)
TEL:052-692-8481 FAX:052-692-8483
E-Mail:a6928481@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp

ポスターセッション 発表内容

水質調査結果からみる
荒子川の姿

研究員 長谷川 総理

荒子川は名古屋市の中区、港区の市街地を流れる河川で、河口のポンプで名古屋港へ排水されているという特徴があります。水質の季節変動などから見えた荒子川の変容を報告します。

植物プランクトンの
優占種からみた
市内ため池の境況

研究員 大畑 史江

都市における貴重な水辺であるため池の水質は、種々のマイクロプラスチックが含まれていることが明らかになりました。市内ため池の水質と植物プランクトンとの関係について報告します。

廃前干潟における
漂着物中のマイクロ
プラスチックの調査

研究員 平生 達吾

廃前干潟には多くの漂着物が打ち寄せています。その漂着物の中には、種々のマイクロプラスチックが含まれていることが明らかになりました。廃前干潟におけるマイクロプラスチックの状況について報告します。

人工衛星を活用した
名古屋の地表温度測定

主任研究員 久恒 邦裕

地球温暖化やヒートアイランドといった環境問題は、国や都市の広さで知られることが多く、身近に感じるのは駅周辺でありません。そこで、人工衛星で測定された地表温度のデータなどを使って、身近な環境を調べた結果を報告します。

会場のご案内

愛知芸術文化センター

名古屋市東区東桜一丁目13番2号

地下鉄 東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分
(オアシス21から地下連絡通路 または 2階連絡橋経由)



お子さま向けの実験動画から専門的な研究発表まで
様々な動画を公開中!

名古屋市環境科学調査センター

名古屋科学館

えぬしーずチャンネル

NCIE Channel



SUSTAINABLE GOALS

